

先日、友人から突然何年かぶりに電話がかかって来ました。彼女は、大学卒業後一年ほどで結婚し、今は幼稚園の年長組に通う男の子と今度幼稚園にある女の子の母親です。

「下の子が、今春から幼稚園で、手がからなくなるから、何か働きたいと思うの。あなたいろいろお仕事しているから何かないかしら」とのこと。

子供から離れることができる余裕がで、再び何らかの形で、社会に出てゆきたいと思う心は、十分理解できます。しかし、そう簡単に今まで社会にろくに出たことのない人を受け入れるスペースが社会にないのも確かです。

キャリアゼロ、しかし、年齢はかなり上。しかも、言うことは、しっかりしている人達。使う側にとっては、使いにくいというのが事実です。20代そこそこの女の子と同じつもりで、全く一から仕事に取り組んでゆくならいいのですが、あ

まりそういう意識はなく、手取り早くお金になる仕事。しかも、週三日ぐらいでわりと日給が良く、家族に迷惑のかわらないものを望んでいる人が多いようです。

三十半ば位になると、ずっと仕事をしていた人達は、それなりのポジションにあり、かなり高給を手にすることが出来ます。その人達とくらべて、パートぐらししかない人、不満を言う人もいます。

長い間キャリアを積んできた人は、それなりの苦労もし、今の地位を手に入れたのです。

友人には、長い眼で、将来やりたいことを見つけるように、十年かかって、十五年かかって、ひとつのことを積み上げてゆく努力をしてほしいと申しました。

人生は八十年です。四十になった所でまだ半分。四十までに、何か見つけられ、いいのではないかと思うのです。

幼児の教育 第八十六巻 第五号

五月号 ©

定価 四〇〇円

昭和六十二年四月二十五日 印刷

昭和六十二年五月一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

©本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。